

## はじめに

「渥美半島の昭和を記す会」では、2022年に『渥美半島の昭和』、2023年に『渥美半島の戦後』を発売しました。私たちが育った昭和という時代を、渥美郡出身者の原風景や体験を手記にして集め、後世に伝えていくことがねらいでした。今回発売の『追想・渥美半島の昭和』を含めると、総計112名から170編もの手記や体験談を3冊に掲載することができました。

今回は、昭和63年に松本義弘氏が執筆された『清谷川』、六連富山の開拓に取り組んだ山上百亀・好夫妻の手記を加え、戦前の暮らしにも焦点を当てました。

また、昭和43年の豊川用水完成と農業基盤整備事業を契機に、農業出荷額全国一を誇るまでに至った田原市の農業は、当時の人々の努力と挑戦に支えられてきました。そこで、『田原・赤羽根史現代編』(2017)の執筆のために行った農業関係者への聞き取りも、「渥美半島の農業の軌跡」として収めました。

さらに、的場氏(三重県旧美杉村出身)と岡田氏(北設楽郡東栄町出身)のお2人にも、戦後の山村の暮らしの様子について、特別寄稿していただきました。

昭和元年生まれの方が今年で98歳。一方、平成元年生まれの方は35歳で、「失われた30年」と呼ばれる平成の停滞期の中で生きてきたことになります。激動の昭和を生きてきた世代とは全く異なる価値観や原風景を持つ世代と考えます。

タイトルに「追想」を加えました。昭和の街並みも時とともに失われていき、記憶の中の残像、心の中の風景となりつつあります。この追想を通して、貧しくても地域社会で営まれていたかけがえのない暮らし、右肩上がりの高度成長の間に置き去りにされたささやかな幸せ、自然豊かな郷土への愛着、ともに昭和を生きてきた誇りのようなものを感じていただければ幸いです。

2024年6月

渥美半島の昭和を記す会 藤城 信幸



昭和10年頃の赤羽根海岸での地引網 田原市博物館蔵

はじめに	.....	1
もくじ	.....	2
渥美郡のあゆみ・地図	.....	4
清谷川	田原町 松本 義弘 (大正 8年生) .....	6
赤褐色のやせ地に挑みて	六連町 山上 百亀 (大正 8年生) .....	17
私の50年	六連町 山上 好 (昭和 2年生) .....	21
夕川と清谷川の釣り	加治町 河合 武次 (昭和10年生) .....	25
電車道と鉄橋	加治町 河合 武次 (昭和10年生) .....	27
田原を襲った集中豪雨	加治町 河合 武次 (昭和10年生) .....	28
思い出は月日が過ぎても、倍増	杉山町 小野寺陽子 (昭和12年生) .....	31
山村における昭和の暮らし	東栄町 岡田 斉 (昭和14年生) .....	32
福江銀座	福江町 井本 俊美 (昭和14年生) .....	33
映画・実演場	福江町 井本 俊美 (昭和14年生) .....	36
渥美に住まひて	小中山町 石川 明子 (昭和16年生) .....	37
地引き網から機械船の思い出	和地町 河合 久 (昭和17年生) .....	38
恋路ヶ浜の10軒売店	伊良湖町 石橋 照之 (昭和19年生) .....	40
イカドウマン漁	白谷町 藤城 精一 (昭和20年生) .....	41
タコ漁とナマコ漁	白谷町 藤城 精一 (昭和20年生) .....	43
テングサ採りと水中銃	白谷町 藤城 精一 (昭和20年生) .....	44
亡兄・哲夫の修学旅行記	田原町 大久保文夫 (昭和22年生) .....	45
タバコ栽培と子供たち	石神町 小野田紀子 (昭和22年生) .....	49
上町通りの思い出	白谷町 藤城 弘子 (昭和22年生) .....	51
子供の頃の手伝いと田原まつり	田原新町 山田わかえ (昭和22年生) .....	52
子供の頃の遊び	田原新町 山田わかえ (昭和22年生) .....	53
郷愁	田原町 鈴木 徹 (昭和24年生) .....	54
祖父のアルバムから	石神町 伊藤 尋思 (昭和25年生) .....	56
牛耕から耕耘機・酪農へ	仁崎町 加藤 克己 (昭和25年生) .....	59
「正義の砦」をつくり遊ぶ	津市 的場 次伸 (昭和27年生) .....	60
ビースケで遊ぶ	江比間町 山内 伸 (昭和28年生) .....	61
片浜の海	片浜町 山田 幸宏 (昭和29年生) .....	62
今は昔…	和地町 石川 祐子 (昭和29年生) .....	63
アナログ世代	和地町 石川 祐子 (昭和29年生) .....	64
渥美線機銃掃射事件	老津町 浅井 康年 (昭和29年生) .....	65

土田集落の暮らし	和地町 鈴木 信義 (昭和30年生) .....	66
日出施設園芸組合	日出町 小久保正之 (昭和32年生) .....	68
小中山町の今昔	小中山町 大谷 公男 (昭和32年生) .....	69
昭和30～40年代の高松一色	高松町 渡邊 幸久 (昭和34年生) .....	71
◇渥美郡農業関係者18人への取材メモ(2017年実施)をもとに	.....	72
渥美半島の農業の軌跡	南神戸町 藤城 信幸 (昭和29年生) .....	72
田原町農業協同組合	野田町 岡本 勝 (昭和11年生) .....	73
野田の農業の移り変わり	野田町 藤井 忠 (昭和12年生) .....	75
野田の養豚	野田町 瓜生 徳男 (昭和10年生) .....	77
六連富山の農業	六連町 多田 辰郎 (昭和16年生) .....	79
六連の土地改良事業	六連町 鈴木 計 (昭和 4年生) .....	80
大草の耕地整理	大草町 富田 和夫 (昭和 6年生) .....	81
西神戸新美の温室ミカン栽培	西神戸町 小林 和吉 (昭和31年生) .....	82
南神戸本前のミカン栽培	南神戸町 福井 貞夫 (大正15年生) .....	82
浦の農業	浦町 三浦 幸廣 (昭和19年生) .....	83
	浦町 八木 巧 (昭和21年生)	
大草のタバコ栽培	大草町 田中 錦生 (大正12年生) .....	84
六連のタバコ栽培	六連町 大河 茂明 (昭和19年生) .....	85
我が家の養鶏業	西神戸町 彦坂 武孜 (昭和18年生) .....	86
磯田園製茶	広島県 磯田 義人 (昭和 6年生) .....	87
赤羽根町農業協同組合	赤羽根町 鈴木 恒夫 (大正14年生) .....	88
赤羽根施設園芸団地	赤羽根町 宮田誠一郎 (昭和 3年生) .....	90
若見の施設園芸	若見町 玉越 長 (昭和35年生) .....	92
マルカ青果問屋	池尻町 木田 和行 (昭和 6年生) .....	93
おわりに	.....	95

表紙 写真 鈴木 政一  
 題字 浅田 博義  
 イラスト 藤城 信幸

昭和	西暦	渥美郡のあゆみ
元	1926	大正天皇が崩御し昭和と改元(12月)
7	1932	小塩津で温室栽培が始まる 渥美キヌサヤエンドウが東京市場を独占
10	1935	六連富山の開拓が始まる(2月)
12	1937	日中戦争開戦(7月)
17	1942	食糧管理法が制定(2月) 養蚕が衰退し桑園がイモ・麦畑に変わる
18	1943	学徒勤労動員が始まる
20	1945	渥美線銃撃事件・太平洋戦争が終戦(8月) 進駐軍が駐屯(10月～)
22	1947	教育基本法・学校教育法が制定(3月) 新制中学校が開校(4月)
23	1948	堀切で電照ギク栽培が始まる
27	1952	和地に渥美暖地園芸試験場ができる(昭和42年閉鎖)
28	1953	石門・骨山ー恋路ヶ浜・伊良湖港間の観光道路が開通(9月) 台風13号が襲来して高潮で大きな被害(9月)
29	1954	渥美郡初の耕耘機が渥美農業高等学校に寄贈 高松一色で沢水を引いて小規模な畑地灌漑が行われた
30	1955	和地の畑地灌漑事業 でんぷん工場が活況 田原中部小学校で吉葉山一行が相撲興行(10月)
31	1956	高度経済成長が始まる(4月) 若見で畑地灌漑を実施
32	1957	町営簡易水道が田原町中央部に給水開始 新美で畑地灌漑によるミカン栽培が始まる
34	1959	伊勢湾台風の暴風雨で大きな被害(9月) 尺貫法からメートル法へ 新谷・富山の簡易水道が完成 白黒テレビが普及し始める
36	1961	農業基本法が制定(6月) 農業近代化資金助成法が制定(11月)
37	1962	第一次農業構造改善事業で基盤整備事業化が始まる
38	1963	伊良湖港が完成 鶏卵の自由化により養鶏農家が増加
39	1964	高潮対策のため西山海岸堤防建設(3月) 東京オリンピックが開催(10月) 渥美たくあん漬物産業が活況 伊良湖ー鳥羽間にフェリーボートが就航(11月)
40	1965	伊良湖海水浴場がオープン 赤羽根町農業協同組合が誕生(11月)
41	1966	田原町内12農協が合併して田原町農業協同組合が誕生(1月) 田原漁業協同組合が漁業補償調印(4月) 集中豪雨で大きな被害(10月) マイカー時代の幕開け 蔵王山みかん狩り園開演(11月)～昭和63年閉園 田原町の土地基盤整備事業がほぼ完了

42	1967	臨海部埋め立てのため白谷海水浴場が閉鎖 赤羽根町の村農でんぷん工場が閉鎖
43	1968	豊川用水が全面通水(5月) 伊良湖ビューホテルがオープン(5月)
44	1969	カラーテレビが普及し始める
45	1970	伊良湖港湾観光センターがオープン(7月) 第二次構造改善事業で施設園芸団地や畜産団地を造成 米余りにより減反政策が始まる
46	1971	渥美火力発電所1、2号機が運転開始(6・10月) 保美に渥美青果総合センター「マル共」が開業 弥八島石苑がオープン
47	1972	ミカン価格が大暴落し伐倒事業が進みミカン団地が消滅
48	1973	仁崎海水浴場がオープン 第一次石油ショックが起き高度経済成長が終わる(11月)
49	1974	皇太子(現上皇)夫妻が渥美郡3町を行啓(11月) 日出施設園芸組合が設立
50	1975	泉・福江・伊良湖岬農協が合併して渥美町農業協同組合が誕生(3月) 赤羽根町の農家一戸当たりの所得が日本一になる～昭和54年
54	1979	トヨタ自工(株)田原工場操業開始(1月) 第二次石油ショック 新農業構造改善事業で野田に畜産団地とカーネーション団地を造成
55	1980	上水道(県水)の供給開始(4月)
61	1986	バブル景気が始まる

昭和31年(1956)当時の渥美郡全図

